



3年生 人権について考える

3年生の総合的な学習の時間で、「人権ってなんだろう」というテーマで話し合いをしました。グループに画用紙が1枚配られ、真ん中に大きく「人権」と書いてその周りに人権に関連することを書き足していきました。3年生は公民の授業の中で「権利」について学習をしていることもあり、最初は「憲法」「男女共同参画社会」「社会権」「自由権」などの意見が出てきました。話し合いを進めることで、「いじめ」「認め合い」「SNSのネット犯罪」「パラリンピック」など具体的な例があがっていきました。最初はなかなかペンが進まなかった班も、意見を出し合うことでどんどんペンが動き、最後には画用紙いっぱいアイデアを出すことができました。この活動を通して、人権は自分たちにとって身近なものであると気づきました。3年生は今後、「子どもの権利」「感染症患者の差別」「犯罪被害者、刑を終えて出所した人の権利」「社会福祉」について地域から講師の先生を招いて学習します。地域の方の力をおかりして、さまざまな視点から人権について考えることで、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる心を育てていきたいと考えています。

(研究主任 林 勝也)



【 「人権」というキーワードについてグループで意見を出し合っている様子 】



三好丘中学校部活動体験・見学を終えて

8月28日(火)に三好丘中学校で部活動交流が行われました。昨年度の冬に引き続き、三好丘小と黒笹小の6年生が中学校に行き、体験や見学を行いました。部活動を通して、中学校生活の一面を知るとともに、来年仲間となる黒笹小の児童とも仲良くなることができました。子どもたちの感想からも中学校の先輩との交流を終えて中学校生活に、前向きな思いをもつ児童がたくさんいたことが伝わってきました。

(人間関係づくり部 飯田 孔明)

テニスラケットの握り方が難しかったけれど、先輩が優しく丁寧に教えてくれたので、上手に打つことができました。

6年2組 安保 友里恵

先輩たちがやさしく教えてくれたり、初心者なのに全部丁寧に教えてくれたりしたので、楽しく終えることができました。

6年2組 中條 元喜

はじめは、上手に音を出すことができなかつたけれど、教えてもらおうとふけるようになりびっくりしました。帰る時には中学校が楽しみだと思いました。

6年3組 佐藤 百桜



【中学生に教えてもらっている様子】



【中学生と一緒に活動する様子】



「にこにこブラインドサッカー教室」開催

9月11日、昨年に引き続き、県内唯一のブラインドサッカーチーム「ミックスセンス」の選手4人をお招きし、「にこにこブラインドサッカー教室」を行いました。取り組んだのは4年生の子どもたち87名。ブラインドサッカーとは、パラリンピックの種目にもなっている視覚障がいのある人のために考案されたパラスポーツ(障がい者スポーツ)です。選手はアイマスクをしてプレーするため、健常者も対等に参加することができます。

さて、当日の子どもたちの多くは、初めてのアイマスク体験でした。目が見えない状態で、友達の声を頼りに動きを真似したり、声がる方向に歩いていったりしながら、想像以上の緊張を味わうことができました。少し慣れてきたところで、ボールを使つてのゲーム。ブラインドサッカーのボールは特徴があり、あまり弾まず、中に鈴が入っています。ボールが転がり鈴が鳴ることで、見えない状態でもその方向や距離を感じ取ることができるようになっています。5m離れた友達に向かって、ボールを蹴り、到達したら1ポイント獲得できるというゲーム。制限時間に、腕を使って方向をアドバイスしたり、たくさん点をとる作戦をチームで話しあったりしてかわり合いながら、「見えない」という人の立場を一生懸命に理解しようとする姿が自然に見られたことは、大きな成果だったとふり返ります。この日の体験が、より子どもたちの視野を広げ、そして他者理解の心を育むきっかけにつながることを期待しています。

(研究主任 岩田 智)



【アイマスクをして歩み寄り、手が触れ合った瞬間、笑顔がこぼれます】



【仲間と関わり合いながら、あつい作戦会議が展開されました】



【「ゴールはこっちだよ」…友達のアドバイスを頼りにゴールをねらいます】